



平成24年11月9日

各位

上場会社名 株式会社 安楽亭
 代表者 代表取締役社長 柳 時機
 (コード番号 7562)
 問合せ先責任者 取締役総務人事部長 本多 英明
 (TEL 048-859-0555)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、下記の通り減損損失を特別損失に計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	270	210	140	6.54
今回修正予想(B)	8,089	46	11	△72	△3.40
増減額(B-A)	△211	△224	△199	△212	
増減率(%)	△2.5	△83.0	△94.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	7,354	△168	△223	△292	△13.65

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,070	330	210	95	4.44
今回修正予想(B)	16,030	60	120	120	5.61
増減額(B-A)	△40	△270	△90	25	
増減率(%)	△0.2	△81.8	△42.9	26.3	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	14,941	△157	△251	△474	△22.18

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,610	200	130	6.08
今回修正予想(B)	7,460	100	21	1.02
増減額(B-A)	△150	△100	△109	
増減率(%)	△2.0	△50.0	△83.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	6,777	△203	△268	△12.53

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,940	200	90	4.21
今回修正予想(B)	14,780	180	200	9.35
増減額(B-A)	△160	△20	110	
増減率(%)	△1.1	△10.0	122.2	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	13,779	△281	△508	△23.79

修正の理由

(1) 第2四半期(累計)業績予想修正の理由

個別売上高につきましては、想定の早期の完全回復とはならず、第2四半期(累計)は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、上記売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益及び四半期純利益はそれぞれ前回発表予想を下回る見込みであります。

第2四半期連結業績予想の修正につきましては、個別業績予想の修正及び米国産牛肉の輸入規制緩和をにらんだ米国での生産減産や飼料であるトウモロコシの価格が干ばつによって高騰していることから仕入価格が上昇した為、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

(2) 特別損失の計上について

一部の固定資産について、当第2四半期連結累計期間において、収益性の低下等により減損の兆候が認められたため「固定資産の減損にかかる会計基準」に基づき、42百万円の減損損失を特別損失に計上する見込みであります。

(3) 通期業績予想修正の理由

通期の業績につきましては、今後、米国産牛肉の輸入規制緩和見通しにより、異常な価格高騰を示した米国産牛肉の相場は峠を越えており、また、ほぼ10年ぶりに30ヶ月牛の輸入が可能になると、仕入コストの低下、多彩な営業施策展開の可能性が広がる等、多点にわたる改善が見込めます。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上